

わたしがわたしになる学校

令和4年10月27日 発行責任者 校長 竹下 比登美



素晴らしい教育環境は人が創る

学校長が全校朝会で「教育環境が人生をより豊かにすることができる、学校の教育環境を創るのは府中小学校の先生たちと府小っ子のみんなである。」という話をしました。

今日はなぜ学校へ行くかということについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。なぜ学校に通っているのか、一言でいうと素晴らしい教育環境で自分自身の人生をより豊かにするためです。ですが、素晴らしい教育環境というのは自然に出来るものではありません。素晴らしい教育環境は人が創るものです。そのための先生方の仕事とそのために府小っ子のみんながすることについてお話しします。

学校はもうみんなが知っているように勉強するところですね。勉強は知識を増やすと言うことが一つの目標です。なぜなら夢は知識だからです。ものを知らないで夢すらもてません。今みんながやるべきことは学校で知識を増やすことです。そのために先生と一緒に勉強しています。知識が増えたらどんないいことがあるか、それは自分の人生の選択肢が増えるということです。例えばAということしか知らなかったら、Aがだめになった時ああもう自分はだめだと思ってしまいますよね。でも、B、C、Dということを知っていたら、AがだめでもBがある、BがだめでもCがある、知識がいっぱいあったらBもCもDもという風にたくさん自分で選ぶことができます。そのために、学校に来て授業を受けているんです。

なぜ学校に通っているの？素晴らしい教育環境で自分自身の人生をより豊かにするためです。そのための先生たちの仕事は素晴らしい教育環境を整えることです。その教育環境というのはみんなが分かる楽しさを発見する授業をすることです。そのために先生たちは放課後も明日の授業に備えて勉強したり準備をしたりしています。それから教室や校内を学びの環境にすることです。みんなの教室を見てください。みんなの勉強の足跡や成長の足跡が分かるようなものが掲示してあります。どの勉強でどんなふうに授業が進んできたか、算数で絶対これは覚えておかなければいけないこと、理科の勉強でみんなが一生懸命書いた観察日記、習字でがんばって整えた字を書いた作品、そういうものが教室や校内にあふれていると思います。そんなふうに先生たちはみんなの学びの環境を作っています。それから、教科の勉強だけでなく人との関わり方、ルールやマナーを教えるのも先生たちの仕事です。こういう時にはこんなふうな言い方をするといいよ、その行動がだめだよ、そんなことを教えるのが仕事なのです。それを教えるのはなぜか、みんなが自分の人生をより豊かにしてほしいからです。これが先生たちの仕事ですが、学校の教育環境をもう一度見渡してみましょう。学校の教育環境とはみんなが安心して学べることです。安心・安全今3年生が総合的な学習の時間に勉強していますが、安心・安全という言葉を使っていますね。安心・安全だと何がいいか、それは自分にとっても幸せだし、相手にとっても幸せだということです。自分にとっても幸せ、相手にとっても幸せ、これが権利なんです。権利といった時自分のことだけ考えるそれは自己中といいます。みんな自己中は嫌いですよね。権利が守られるには相手のことも考える。じゃあ、ちょっと考えてみてください。教室で勝手に席を離れる、これは権利ですか。人の物をさわる、これは権利ですか。大声を出す、暴言を言う、これは権利ですか。先生の指示を聞かない、これは権利ですか。授業ですべきことをしない、これは権利ですか。これは自己中です。みんなは自分の知識を増やす、自分の権利を守るために分からないことは分からないとも言っていていいんです。ただし、言い方が大事、暴れたり教室を飛び出したりでは解決しません。ここがよく分からないのもう少し説明してください。ゆっくり教えてください。もう少しヒントをください。私はこうと思いますが、先生どうでしょうかなどお互いに人と人として対話することが大事です。これが自分の知識を増やすという権利を守ることになります。今日のお話のまとめです。1つ目、自分の人生の選択肢を増やすために知識を増やすこと、そのために学校があります。2つ目今いいましたが、それをかなえるのが学校です。3つ目、学校の教育環境を創るのはこの府中小学校の先生と府小っ子のみんなです。4つ目、自分も幸せ、相手も幸せな教育環境をつくるのが権利です。5つ目自分からもどんどん知識を増やしていきましょう。それが自分の人生を豊かにすることにつながります。

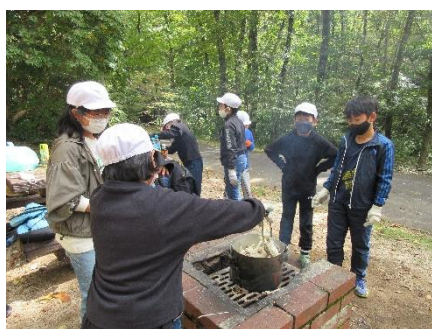
いのちの力強さを感じた修学旅行

10月24日・25日の2日間、6年生が熊本県に修学旅行に行ってきました。熊本城の被災状況や復旧過程を安全に間近で感じることができる特別見学による防災・減災学習、阿蘇の雄大な自然が緑一面に広がる草千里での散策、仲間と思いっきりアトラクションを楽しむことのできた三井グリーンランドなど思い出に残る2日間を過ごしました。今年もホテルでのくまモンのお出迎えサプライズに子供たちは大喜びでした。復興・歴史・自然など本物に触れながら学び、仲間と協力してこれまでの学びを深めることのできた修学旅行でした。



自然の中で絆を深めた野外活動

10月11日、12日の2日間に5年生がもみの木森林公園へ野外活動に行きました。平和公園では、平和記念資料館の見学や碑巡りを通して平和の大切さを改めて感じました。豊かな自然に恵まれたもみの木森林公園では、クラフト作り、キャンプファイヤー・スタンツ、飯盒炊飯などの活動を楽しむことができました。友達と声を掛け合い協力したり実行委員を中心として自分の役割を果たしたりと友達との絆を深める充実した野外活動になりました。



小中合同公開研究大会開催

10月19日、本校を含めて府中中学校、府中東小学校、府中北小学校の4校を会場として府中中学校区公開授業研究会が行われました。府中中学校区で「主体的・対話的で深い学びの創造～探求的な学習のカリキュラム開発・実践～」を研究主題とし、進めている研究の一端を小学校6授業、中学校2授業、研究発表等で公開しました。分科会では参加者の皆さんによる活発な協議が行われ、講師の先生方からは多くのご指導・ご助言をいただきました。これらのことを今後の実践にいかしていきます。参加者から寄せられたメッセージを紹介します。

3年：総合的な学習の時間「府中町のキラリ発見！発信隊！！」～みんなでつなぐバトン～



くらげチャート、オクリンクなど様々な思考ツールを活用することで児童の考えを深め、主体的・探求的に学ぶことができていました。子供たちの発表力や聞く力が育っていると思いました。

4年：総合的な学習の時間「身近な環境からよりよい世界へ 府中町キッズ環境プロジェクト」～府中町がいつまでも住みよい町であるために～



子供たちのやる気がすごく見えました。先生の準備や「お宝です」「ニュースです」などのパワーワードで子供たちのやる気がぐんと上がっていました。

本との出会いが広がるブックトークタイム

月に1回全校でブックトークタイムに取り組んでいます。ブックトークタイムでは読んだ本を紹介し合うことで読書の幅を広げる、読書量を増やす、語彙力や表現力を高めることなどをねらいとしています。紹介者が本のあらすじを紹介したり、一部分を読んだりすることで聞き手は「おもしろそう」「この続きはどうなるんだろう」「読んでみたいなあ」という気持ちになり実際に本を手にとり読書をするにつながっています。



1年生のブックトークをする力ものびてきました



クラスみんなに本の紹介



グループでのブックトーク

あいさつぐんぐん運動で挨拶が行き交う学校に

挨拶が行き交う学校になるように児童会執行部によるあいさつぐんぐん運動が毎朝行われています。執行部の子供たちが正門・東門・南門、児童玄関などに立ち「おはようございます」と進んで挨拶をしています。子供たちの元気な声が響きわたる朝はとても気持ちがいいです。挨拶は人と人をつなぐことができます。ぜひ、ご家庭でも地域でも学校でもさわやかな挨拶が行き交うことができるよう子供たちに引き続き声をかけていただきますようよろしくお願いします。



リフレッシュおそうじ大作戦 171 名参加！

10月1日に3年ぶりに保護者・教職員・児童によるリフレッシュおそうじ大作戦が行われました。普段掃除の手が行き届きにくい教室の窓、扇風機、通気口、黒板や棚の上などの高所の掃除を隅々までしていただき、教室・靴箱・体育館などがピカピカになりました。参加した子供たちも保護者の皆さんと一緒に掃除をすることで、張り切って掃除をしていました。休日にもかかわらず、参加してくださった保護者の皆さん、お世話をしてくださった保健委員会の皆さん、本当にありがとうございました。



多くのお父さんの参加



親子で一緒に楽しく掃除



子供たちも大活躍

府小っ子の活躍を紹介します！

令和4年度府中町明るい選挙啓発ポスターコンクール

入選 6年 新明 碧羽
佳作 6年 森脇 さと 西村 桃華

令和4年度税に関する絵はがきコンクール

入選 6年 門前 陽和

令和4年度 環境と健康のポスター・標語コンクール

標語の部 広島県薬剤師会会長賞 3年 島野 千尋
奨励賞 2年 猪澤 友翔

第14回MOA美術館安芸郡児童作品展

絵画の部	広島県教育委員会賞	4年	有田 一喜	
	府中町教育長賞	1年	有田 果乎	
	金賞	2年	和田 陽依奈	5年 山中 結愛
	銀賞	2年	和田 広貴	4年 木戸 芽衣子
	銅賞	5年	斎藤 茜希	6年 脇田 遼花
書写の部	金賞	5年	松浦 慧昂	
	銀賞	2年	奥村 俊士	5年 藤附 由女
	銅選	3年	林 大祐	4年 河野 夢夏

